

2007年(平成19年)9月14日(金曜日)

山陰ワイズ



江津市江津町の本町第三自治会が導入した携帯電話のメール連絡網の運用管理者として、登録会員に、自治会の連絡だけでなく、防犯情報や地元スポ少の試合結果などを積極的に情報発信している。

「災害時の安否確認など

地域のIT普及に取り組む

さんとう 山藤 あきひこ 昭彦さん



スポ少結果など積極発信

にも役立つメールの良さを人もおり、都会に住む家族も多くの人に知ってもらいたから喜ばれている」
い。導入をきっかけにメー 父親の介護などのため、
ルのやりとりができるよう 火力発電所の設計などで三
になった七十年代、八十年代の 十年働いた会社を辞め、川

崎市から昨年十一月にUターン。自治会の運用管理者はボランティアだが、メールの情報伝達システムのビジネス利用を図るための活動を展開している。

「このままでは、IT化の遅れた古里が、世の中の流れから取り残されてしまう」と憂慮。この先は「ITコンサルタント」として地域で仕事をしていくことが目標だ。「ほとんど疎遠だった」地元の同級生らに助けられ、少しずつ仕事の幅を広げている。

江津市江津町。五十二歳。